

広島中央ロータリークラブ

2018－2019年度事業計画

【2018～2019年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■理事役員

(2017.7.1-2018.6.30)

会 長	(理事) 古澤 宰治	奉仕プロジェクト	(理事) 戸田 幹雄
直前会長	(理事) 嶋本 文雄	ロータリー財団	(理事) 河野 隆
会長エレクト	(理事) 福田 浩	クラブ広報	(理事) 山野井秀樹
副会長兼会員組織	(理事) 芥川 宏	クラブ管理運営	(理事) 宗正 俊文
副会長	(理事) 村本 憲康	会 計	(理事) 澁谷 紀子
幹 事	(理事) 鳥井 均城	S.A.A.	(役員) 栗井 孝二
副幹事	下原 千夏		
副幹事	新宮 勝則		

■会員組織委員会	理事・委員長 芥川 宏					＊＝兼務
	委員長	副委員長	委員			
会員増強・職業分類	竹川誠一	松田 隆	杉本嘉朗	緒方俊平	橋本 満	
ロータリー情報(研修リーダー)	砂田恭延	大久保雅通	吉川修平	土肥博雄＊	神田栄治	

■奉仕プロジェクト委員会	理事・委員長 戸田幹雄					
	委員長	副委員長	委員			
職業奉仕	大久保雅通	松村公市	浜田逸郎	出崎邦彦	土谷治子	岡田 茂＊
人間尊重・社会奉仕	大井太郎	黒瀬真一郎	熊野 巧	前原恒泰	城本健司＊	新宮勝則＊
国際奉仕	尾形 聡	七枝敏洋	城本健司＊	田中純子	下原千夏＊	安藤徹哉＊
青少年奉仕	大坂隆志	吉川 恵＊	徳見泰司＊	平松恵一	村上恒二	山本昌弘
			淀江晃太郎＊			
ローターアクト委員会	三宅朗充	吉川 恵＊	前原恒泰＊	田中純子＊	西井裕昭＊	西川 済＊

■ロータリー財団委員会	理事・委員長 河野 隆					
	委員長	副委員長	委員			
ロータリー財団・米山奨学	児玉哲郎	長場 誠	吉川修平＊	柳田実郎	椿 和央＊	

■クラブ広報委員会	理事・委員長 山野井秀樹					
	委員長	副委員長	委員			
クラブ会報・資料保存	好永裕一	安藤徹哉	神保 紘＊	吉清有三	渡邊義文＊	政岡誠二
広報	淀江晃太郎	西井裕昭	金井征男	上原悠爾	城川大二郎	頼岡徳在
I T	岡田 茂	城本健司	通谷 章	土谷治子＊	政岡誠二＊	

■クラブ管理運営委員会	理事・委員長 宗正 俊文					
	委員長	副委員長	委員			
出席	柳川寿子	木下三枝子	榎崎哲也			
親睦	大内総一郎	西川 済	西井裕昭＊	淀江晃太郎＊	岡田 茂＊	松田 隆＊
			七枝敏洋＊	大井太郎＊	安藤徹哉＊	渡邊義文＊
			政岡誠二＊	平瀬春男		
プログラム	大田由孝	池田繁実	神保 紘	大久保雅通＊	榎崎哲也＊	
S. A. A.	栗井孝二	上田 恵	土谷治子＊	松田 隆＊	安藤徹哉＊	渡邊義文
			西川 済＊			
会計	澁谷紀子	徳見泰司	河野 隆＊	小佐古哲哉	岡田 茂＊	

特別委員会

	委員長	副委員長	委員			
国際交流基金特別委員会	古澤宰治	鳥井均城	原田啓吾	徳見泰司	嶋本文雄	砂田恭延
			尾形 聡	澁谷紀子		
戦略計画委員会	吉川 恵	福田 浩	田原榮一	赤羽克秀	前原恒泰	吉川修平
がん予防啓発推進委員会	椿 和央	土肥博雄	赤羽克秀	藤村欣吾	迫田勝明	前原恒泰
		松村公市	古澤宰治	平松恵一	吉川 恵	山肩俊晴
			土谷治子	柳田実郎	児玉哲郎	
			尾形 聡 (事務局長)			
創立40周年記念委員会	赤羽克秀	三宅朗充	長場 誠			

- 会計監査委員 原田啓吾
○合同事務局運営委員 鳥井均城

会員組織委員会

理事・委員長 芥川 宏



1. 方針

クラブ創立40周年を迎え、会員数が80名と安定的なクラブ運営を行える人数となっているものの、入会歴がそれほど長くない会員が多くなっていることにも鑑み、会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を踏まえ、現在の会員同士の交流を一層大事にして会員80名体制を継続しつつ、新入会員は幅広く求めたうえで、そのケアに配慮していく。

2. 計画

- ・純増3名以上を目指し、会員80名体制を継続する。
- ・研修セミナー、ファイアーサイドミーティングを実施し、同好会の入会も促して、新入会員に対するケアに配慮する。

会員増強・職業分類

委員長 竹川 誠一



1. 方針

会員増強はロータリーにとって優先されるべき重要なテーマです。ラシン RI 会長は「奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願うなら、まずは会員を大切にしなければなりません」と述べられています。また吉原ガバナーも「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」と方針を掲げられています。

広島中央 RC は古澤会長のもと本年度は「創立40周年」を迎えます。我がクラブも会員一人ひとりを互いに大切に、クラブのさらなる発展と、充実した奉仕活動を目指します。

2. 計画

- ①純増3名以上を目標とし、会員80名体制を継続する。
- ②職業、年齢、性別の偏りが少ないような会員増強を目指す。
- ③新入会員のケアを特に配慮し、同好会にも積極的に勧誘する。

3. 予算 50,000 円

ロータリー情報

委員長 砂田 恭延



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を踏まえ、新会員の方々へはわかりやすい情報提供を、入会

3年未満会員の方々へはロータリーへの興味と理解を深めて頂けるよう、戦略計画委員会と協力しながら各種の活動を実施していきます。

2. 計画

- ①入会予定者へは推薦者とともに訪問し、ロータリーへ興味を持って頂けるよう、また入会にあたっての不安を払拭出来るようわかりやすいインフォメーションを実施します。
- ②新会員を対象に、ファイアーサイドミーティングを実施します。ロータリーの基礎知識を学び、クラブの雰囲気早く馴染んで頂けるよう、気軽に話し合えるミーティングを企画します。
- ③戦略計画委員会と連携し、入会3年未満の会員の方々を対象にクラブ研修セミナーを年2回実施します。ロータリーに関する興味と知識を深めてもらえるようなテーマを取り上げ、また会員同士の親睦・交流を深められるような研修を企画します。

3. 予算 50,000 円

奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 戸田 幹雄



1. 方針

奉仕プロジェクト委員会の目的は、人道的・教育的・職業的プロジェクトを立案、実践し、より良い地域社会を築く一助になることです。広島中央ロータリークラブには、他クラブに勝るとも劣らない！奉仕活動文化！が存在します。伝統を引き継ぎ、会員総員で取りくめるように配慮します。

クラブ創立40周年を迎える記念すべき年度です。創立40周年記念事業実行委員会等とも連携協議し、後世まで語り継がれるような奉仕活動事業が達成できることを目指します。

2. 計画

- ①戦略計画委員会・ロータリー財団委員会・クラブ広報委員会等各種委員会と連携協議し、事業計画を展開します。
- ②地区補助金を活用した事業は、継続二年目です。広島県立広島中央特別支援学校中学部の生徒に、音楽用具一式（補助申請額300,000円 クラブ資金300,000円）を贈呈し、交流を深める計画を進めます。（平成31年1月21日実施予定）
- ③マイカー乗るまゝデーPR活動・献血支援活動をより充実させ、会員全員が参加出来るように工夫を加え、事業の成長を図ります。
- ④創立2年目を迎えた、広島中央ロータリーアクトクラブは、会員の増加が図れず、存続が危ぶまれている現状であります。親クラブである広島中央ロータリークラブメンバーが、企業サポートにより、適任者を推薦し、会員増加が期待出来る、環境整備を図ります。

- ⑤国際奉仕は、新たなグローバル補助金事業の計画を、全会員の協力の元、再構築を図ります。
- ⑥国際平和都市広島に相応しい「平和作り」に貢献できる国際奉仕活動の展開及びグローバル補助金獲得に向けた事業の発掘に努めます。
- ⑦姉妹クラブ台中西区 RC との交流事業に努めます。
- ⑧ 8 月 6 日「平和祈念式典参加者等」へのサービス事業の拡充に努めます。
- ⑨会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集と表彰を行います。
- ⑩職業奉仕の理解と知識を深めるためのクラブフォーラムの開催と職場訪問例会の実施に努めます。
- ⑪古切手・書き損じはがき・愛のコイン箱等の収集事業の継続に努めます。
- ⑫例会時の四つのテスト及びロータリアン行動規範の唱和事業継続に努めます。

職業奉仕

委員長 大久保 雅通



1. 方針

『職業奉仕入門』によると、職業奉仕は「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、職業上の高い倫理基準、役立つ仕事はすべて価値あるものという認識、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔にすること、という三項目を奨励し、育むこととされています。今年度は会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」をふまえ、下記の計画を実施する中で、各会員がお互いの職業への理解を深め、倫理的な行動を周囲に促し、若者のキャリア目標を支援するよう活動します。

2. 計画

- ①倫理的行動を測る上での重要な物差しである「四つのテスト」、倫理的行動の枠組みとなる「ロータリアンの行動規範」を、毎月の例会において交互に唱和します。
- ②職業奉仕月間に関連して、職業奉仕への理解を深めるための勉強会と、職場訪問例会を実施します（悠悠タウン江波看護小規模多機能サービスを訪問予定）。
- ③プログラム委員会と連携し、職業倫理を学び合う機会として、会員卓話の実施を図ります。
- ④職業奉仕の原点として、会員の健康保持増進を図るため、健康診断の斡旋を行います。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員を募集・表彰します。

3. 予算

一般会計 100,000 円
ニコニコ箱会計 100,000 円

人間尊重・社会奉仕

委員長 大井 太郎



1. 方針

基本的には、広島中央ロータリークラブの先輩が築いてこられた諸行事を踏襲いたしますが、事業年度中に良いアイデアや企画があれば積極的に活動してまいります。

地区ガバナー信条は「輝こうロータリー ふたたび!」基本目標を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」としています。そして広島中央ロータリークラブは創立40周年を迎え、「縁を大切に、そして広げよう」と、会員を大切に、親睦に注力する年と古澤新会長が方針を発表しましたので、会長方針に沿って「縁を大切に」をロータリアンだけでなく、我々に関わる全ての人たちに広げ、地域社会への貢献に邁進してまいります。

2. 計画

- ①例年通り知的障害者、身体障害者の支援を継続します。
- ②献血活動に力を入れます。会員、家族、従業員、ボランティアの学生さんたちと協力し、年 1 回の基町クレドでの献血キャンペーンを中心に活動します。
- ③マイカー乗るまァデーのキャンペーン
- ④8月6日の平和式典の参加者に対するサービス
- ⑤エコドリム運動は、10年の節目を迎え継続の可否を検討します。
- ⑥その他、会員の英知を集めて、新しいボランティアができるかどうか考慮し、事業年度中でも良いアイデアや企画があれば積極的に活動します。

3. 予算 1,500,000 円

国際奉仕

委員長 尾形 聡



1. 方針

広島中央ロータリークラブの会員の保有する専門性を活かした活動をすることにより、国際社会に健康、教育、青少年育成、交流の観点から貢献し、平和な社会作りに寄与することを基本方針とします。

従来から広島中央ロータリークラブとして行っている国際奉仕活動の継続に加えて、他クラブや団体との連携事業の実施に向け検討いたします。

2. 計画

- ①古切手、書き損じはがき等の収集の継続、発展途上国の女性や子供達を支援する国際奉仕活動を行います。

- ②カンボジアでの医療支援活動を継続します。
 広島大学と連携しカンボジアにおける肝炎予防対策事業を支援します。
- ③サンタローザ（サンライズ RC）の継続支援を行います。
- ④姉妹クラブとの交流
 台中西区ロータリークラブとの交流ならびに共同した奉仕事業を検討します。
- ⑤他クラブや団体との新規連携事業を検討します。
- ⑥災害など緊急支援を要する事案に協力します。

3. 予算 450,000 円

- ①カンボジアにおける疾病予防活動支援（10 万円）
 健康診断に必要な物品の購入
- ②サンタローザ（サンライズ RC）復興支援（10 万円）
- ③台中西区ロータリークラブとの交流、国際ロータリー関連諸費用（5 万円）
- ④他クラブとの連携事業（10 万円）
- ⑤その他、緊急事案への対応（10 万円）

青少年奉仕

委員長 大坂 隆志



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を認識し、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）を学び、会員・青少年・ローターアクトクラブと共に連携を図り活動していきます。関わるみんなが楽しく奉仕活動を行い、より良い地域社会への一助となるよう目指します。

2. 計画

- ①2010年から継続しています「献血支援活動、マイカー乗るまっデー PR 活動」を、更に皆さんとの縁を大切に、会員・大学生・会員家族・従業員・ローターアクト会員と共に協力して行います。
- ②ローターアクトクラブ例会・RYLA に参加し、青少年奉仕について効果的な活動を検討します。

3. 予算

一般会計 100,000 円
 ニコニコ会計 200,000 円

ローターアクト

委員長 三宅 朗充



1. 方針

広島中央ロータリークラブが設立した、広島中央ローターアクトクラブを、「縁を大切に、そして広げよう」の会長方針に基づき青少年の人的成長、指導力開発・社会奉仕・国際奉仕など、将来を担う青少年の質的向上の場となるように努めます。

2. 計画

広島中央ローターアクトクラブがローターアクト会員相互の研鑽の場となり、人的成長の礎となるべく有意義な場として成長させます。

3. 予算

一般会計 1,200,000 円

ロータリー財団委員会

理事・委員長 河野 隆



1. 方針

ロータリー財団の設立目的である「世界で良い事をしよう」を実践するためにロータリー財団に対する全員の理解と協力を得て、以下の計画を達成する。

2. 計画

- (1)ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付目標の達成
- ①ポリオ・プラスへの支援 35ドル/人
 - ②年次寄付 150ドル/人
 - ③ベネファクター 1名/クラブ
 - ④米山奨学会 16000円/人
- (2)米山月間及びロータリー財団月間で、フォーラムを開催し、米山奨学ロータリー財団の情報提供並びに理解促進を図る。

ロータリー財団・米山奨学委員

委員長 児玉 哲郎



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を踏まえ、「世界でよいことをしよう」という目的で設立されたロータリー財団、母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生を奨学することを目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めていただき、以下の計画を達成する

2. 計画

- ①クラブ例会時の委員会報告や卓話時間を利用して、ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。

ロータリー財団については、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する冊子を作成し、配布する。また、「ロータリー財団と寄付」改訂版（2018-19年度）も作成する。

米山記念奨学会については、Rotary Yoneyama 豆辞典（2018-19年度版）を配布し、情報提供する。

- ②ロータリー財団と米山記念奨学会の寄付目標が達成できるように活動する。11月の財団月間には、第7回ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施し、5名以上を目標に全会員に対して協力要請を行う。また、米山功労者は1名、ベネファクター1名を目標とする。ポリオプラス活動の推進のため、愛のコイン箱の寄付金目標額を達成するよう努力する。
- ③地区補助金対象事業「広島県立広島中央特別支援プロジェクト」の2年目事業について、奉仕プロジェクト委員会をサポートするとともに、地区補助金の給付を受ける。
- ④新入会員を対象に、米山記念奨学会やロータリー財団をテーマに、ファイアースイドミーティングを開催して、解説する。

3. 予算

一般会計 200,000 円
ニコニコ会計 300,000 円

クラブ広報委員会

理事・委員長 山野井 秀樹



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を踏まえ、執行部と各委員会がしっかり連携し、広島中央ロータリークラブの活動やロータリークラブ全体の活動について委員会メンバーと話題を共有しクラブ内外に発信していく。

2. 計画

「ロータリーの友」をロータリー月間に合わせた記事を中心に月一回例会時間の委員会報告で紹介する。

「クラブ会報・資料保存」

クラブ会報については、委員会を中心にクラブ会員の皆さまに様々な活動をより分かり易く発信します。またIT委員会と連携し、ホームページを活用し当クラブの魅力を内外に発信します。資料保存に関してはデジタルアーカイブでの管理が出来るようにします。

「広報」

本年度予定しているクラブ事業に関して、早めの情報収集しメディアを通じて発信することで当クラブの認知度を上げます。

「IT」

クラブ会報・資料保存委員会と連携して、ホームページの更新をリアルタイムに行い情報発信をすると共に

過去の資料保存をデジタルアーカイブを作成し、ホームページ内で保存する為の検討。また、マイロータリーへの登録・利用促進を図る。

クラブ会報・資料保存

委員長 好永 裕一



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を踏まえ、クラブの活動及びロータリークラブの諸活動について、委員会のメンバー全員参加でクラブの内外に情報発信していきます。

会員の皆様に喜んでいただき、会員相互の親睦を深める会報を作成し、クラブ内外に発信していきます。

2. 計画

サイズ、ページ数、発行日（翌月の第3例会）等は従来どおりとし、表紙は当該月の代表的な写真やロンガルス同好会のメンバーの作品を掲載予定です。写真撮影などの業務はクラブ広報委員会のメンバーで連携して滞りなく行います。

また、3年に一度の会報用のファイルを作成し配布します。

3. 予算 2,230,000 円

広 報

委員長 淀江 晃太郎



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」に基づき、本年度予定されている当クラブの活動内容を各委員会と連携して情報を内外に発信することで他クラブや社会との縁を図り、そしてその縁を広げていく。

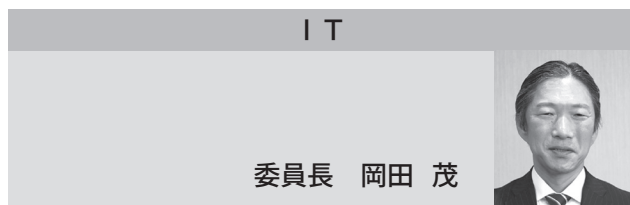
2. 計画

特に今年は創立40周年の記念年度となり、台中西区ロータリークラブとの交流も含め多くの情報発信が求められているので、具体的に下記に留意しながら活動を行う。

- ①早めに正確な情報収集を行う。（エコドリーム運動や特別支援学校等）
- ②マスメディアが取り上げやすい内容、タイミングを図る。
- ③「ロータリーの友」、「ローターネットワーク」への投稿。
- ④広報媒体は全国紙5社（朝日、読売、毎日、産経、日経）、地元紙2社（中国、山陽）、テレビ5社（NHK、中国放送、

広島テレビ、ホームテレビ、テレビ新広島)、通信社 2 社 (共同、時事) の 14 社とする

3. 予算 50,000 円



1. 方針

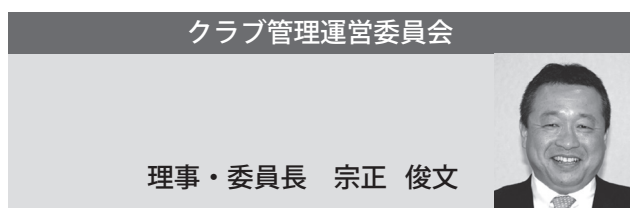
会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」を踏まえ、執行部と各委員会が連携しながら、広島中央ロータリークラブの諸活動、ロータリークラブ全体の活動について、委員会メンバーと話題を共有し、クラブ内に伝えるだけでなく他クラブやその他外部にもアピールし情報発信をしていく。

2. 計画

クラブ会報・資料保存委員会や広報委員会と連携して、当クラブの様々な活動をリアルタイムにホームページにアップし、情報発信をすると共に、過去の資料保存について、デジタルアーカイブの作成をし、ホームページ内で保存していく。

「IT」
前年度までに築き上げたクラブホームページを刷新により維持管理及び充実・定期的更新・各種活動・行事の資料・書類・写真の保存を各種委員会と協調及び協力し、また地区委員会の方針に従い RI Web サイトのマイロータリーへの登録・利用促進を図る。

3. 予算 1,000,000 円



1. 方針

今年度 RI ラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」です。
テーマの意味としては「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブや他のロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していきたいのです」となっています。

また吉原ガバナーはガバナー信条を「輝こうロータリーふたたび!」そして基本目標を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」と示されています。

その方針を受け、古澤会長は「縁を大切に、そして広げよう」を会長方針とされました。

今年度は創立 40 周年の年でもあり、更なる発展をする為に「会員を大切に」という意味で「親睦」に目を向けられ広島中央ロータリーの一員となった縁を大切にしたいとされています。

この方針に基づき、クラブ管理運営委員会では、より多くの縁を広げ、会員の皆様に興味深い例会を企画し、出席を促し、会員同士が全員と親睦を育めるよう努め、広島中央ロータリークラブの効果的なクラブ運営の為に、クラブ管理運営委員会全員で活動していきたいと思っています。

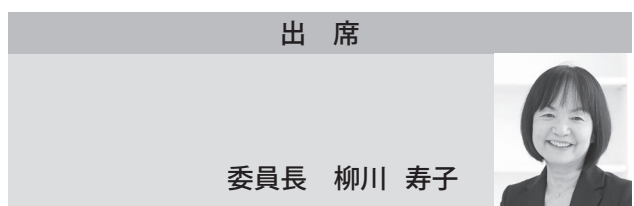
2. 計画

出席委員会は、会員の出欠席に心配りをし、100% 出席が達成できるよう取り組む。

親睦委員会は、クラブ活動が楽しくなるよう、例会・家族会・歓迎会等で会員同士全員が親睦を育めるよう取り組む。

プログラム委員会は、会員にとって興味深く面白い例会プログラムを企画する。

SAA 委員会は、よりよいビジターへの接遇と、例会をより楽しく、より有意義な場となるよう心掛け、多くの皆様に出席していただける例会を目指す。



1. 方針

会長方針「縁を大切に、そして広げよう」のテーマをふまえ、何よりもまず、会員が例会を楽しめて、お互いのご縁が深まる例会を目指し、親睦、SAA、プログラムのメンバーと連携を取りながら進めて参りたいと思います。

特に 当ロータリーは、出席に対する意識が高いので、その伝統を大切に 繋いでいきたいと思っています。

2. 計画

- ・毎回の例会での、出席報告を委員会全員で交代しながら行い、まず委員会メンバーの参加意識を高めたいと思っています。
- ・月末の例会で、翌月のプログラムの案内をして、会員の皆様の参加意欲の向上に繋がりたいと思います。
- ・欠席された会員に、メーキャップの案内、e クラブの案内をしたいと思っています。

3. 予算 200,000 円

親睦委員

委員長 大内 総一郎



1. 方針

会長方針である「縁を大切に、そして広げよう」に基づき、ロータリーの会員としての縁をより強く価値を高めていけるような活動をしていきたいと思います。

会員同志の縁をより意識して頂けるよう、他の委員会とも連携し親睦会や家族会の運営に尽力していきます。

2. 計画

- ① 6月26日火曜日 親睦会家族会
(カープ観戦) マツダZoom Zoomスタジアム
 - ② 7月28日土曜日 夜間家族例会
(花火大会) プリンスホテル広島
 - ③ 11月19日月曜日 親睦会 夜間例会
(3RC 合同例会) ANA クラウンプラザホテル
 - ④ 11月28日水曜日 親睦会 夜間例会
(創立40周年記念例会) プリンスホテル広島
 - ⑤ 12月17日月曜日 夜間家族例会
(クリスマス会) プリンスホテル広島
 - ⑥ 6月24日月曜日 最終夜間例会
(点鐘引継) 半べえ
- ※新入会員歓迎会 随時開催

3. 予算

- *夜間例会・家族会等補助 3,300,000 円
- *会員記念日費用 800,000 円

プログラム

委員長 大田 由孝



1. 方針

会長方針「縁を大切に、そして広げよう」に基づき「縁」を大切にそこからさらに「広がり」に繋いで行く事ができるように実践していきます。また創立40周年にあたる今年度、我々のクラブがさらに発展する為にどうすれば良いかという事も常に考えながらプログラムを考えていきます。

2. 計画

経済、スポーツ、行政、文化、芸術など各方面からの卓話に加え、同じロータリーの会員である他クラブの仲間にも目を向け、様々なプログラムを実践し縁から広がりができるように実践していきます。またロータリー特別月間も意識しながらプログラムを計画します。前年度から始まった会員によるリレー卓話も引き続き実践をして

いきたいと思います。

3. 予算 300,000 円

S.A.A.

委員長 粟井 孝二



1. 方針

会長方針「縁」を大切に、そして広げよう」に基づき、クラブ管理運営委員会の各委員会と連携し例会運営が歴代の S.A.A 委員会で積み重ねた、会員の皆様が楽しく好意と友情を深める場になるよう、また、クラブの一員となったご縁を大切に思える例会運営に努めます。

2. 計画

- ①例会でのゲスト来客の方へおもてなしを親睦委員会と協力し対応していきます。
- ②会員相互の親睦の場としての例会運営を心がけます。
- ③ニコニコ箱では、会員の皆様が投稿しやすい環境を作ります。
- ④活動を関係する全ての委員会と連携し協働して進めていきます。

3. 予算 100,000 円

会 計

委員長 澁谷 紀子



1. 方針

各理事、個々の委員会と打ち合わせをしながら、予算を有効活用出来るよう努めたいと思います。

2. 計画

理事、委員長に年間を通じた活動内容を理解したうえで予算を立てて頂き、出来る限り予算に沿った運営をお願いする。

国際交流基金特別委員会

委員長 古澤 宰治



1. 方針

「広島中央ロータリークラブ国際交流基金」は、クラブ

10周年記念行事として創立され、その後追加の500万円を加え現在1000万円である。この基金より発生する果実をもって広く国際交流等にかんする支援を行う。

2. 計画

現状では、運用利息がわずかであるため利用が制限されていると思われる。基金そのものの制度、規約の変更等を、会員の意見を取り入れ、特別委員会を招集して規約の改正等について検討する。

戦略計画委員会

委員長 吉川 恵



1. 方針

会長が掲げられている「緑を大切に、そして広げよう」を実現化してゆくため、中長期視点に立った活動や事業を推進してゆく。

2. 計画

- ①「クラブの健康チェック」のアンケート結果内容をもとに、クラブの活性化に向け活動や事業を立案推進してゆく。
- ②奉仕活動
奉仕プロジェクト委員会と協働により広島中央ロータリーアクトクラブの成長支援。
- ③会員増強
会員組織委員会との協働により研修セミナー、ファイヤーサイドミーティングの開催。
- ④会員増強
会員組織委員会との協働により会員増強のため、全会員が、入会可能性のある方々に打診できる方法を模索する。
- ⑤青少年交換の取組と推進

3. 予算 100,000 円

がん予防啓発推進委員会

委員長 椿 和央



1. 方針

会員の方にがんを正しく理解をしていただき、がんに対する意識、関心を深化させ、さらなる向上を図る。また予防をすることがいかに重要であるかを認識し、行動が伴うように生活習慣を改めていただくようにする。

若い方へもがん予防の意識をもってもらえるように努める。

2. 計画

- ①がん予防「新12か条」をできれば3か月毎に例会で確認する。
- ②出前講義の拡大。2018年(2/21)崇徳高校に禁煙を中心に講義、その継続とさらに他地域からも依頼(柳井の高校)があり、講義の拡大。さらにロータリーアクトに対しても講義を行いたい。
- ③がん予防啓発推進アンケート調査 2017年8月に3回目のアンケート調査を行った。過去3回のアンケート結果は確実にがん予防に対する関心、生活態度の改善は認められるが、回答率は約60%であり、さらに詳細を知るためには回答率を上げなければならないため、今回は郵送方式にしてアンケートの実施を行いたい。
- ④がん予防のクラブフォーラム。がんに関連する卓話を考えている。前述のアンケート結果から会員関連でがん患者の就労支援を行っているとの回答が33%と低いため、この方面で卓話をさせていただける方を探している。
- ⑤がん拠点病院で主催される市民講座の開催ポスターを当ロータリー関連の会社、企業に配布し、可能であれば聴講もしていただく。
- ⑥会員でがんに罹患した方の体験やこうすればよかった等の体験談をまとめ、冊子にし、配布したい。
- ⑦がん予防講演会をどこかと共催できないか検討中。現在、広島赤十字・原爆病院(元当ロータリー会員 古川院長と相談中)「感染症とがん予防」場所は前病院講堂。

3. 予算

印刷費 30,000 円	郵送費 20,000 円
講師料 30,000 円	その他 20,000 円
計 100,000 円	

創立40周年記念委員会

実行委員長 赤羽 克秀



1. 方針

会長方針である創立40周年を迎え、更なる発展をするために、「会員を大切に」という意味を理解し、進めていく。

2. 計画

- ・創立40周年の歴史と重みを理解する例会とする
- ・当クラブの組織力をアピールできる記念例会にむけての企画作りを行う
- ・全員参加による各メンバーの当クラブ員となった縁を大切にす記念例会を目指す